

# 学習指導センターだより

第3号〔令和8年6月18日（木）〕

☎949-6680 南魚沼市六日町 865 南魚沼市民会館2F 南魚沼市学習指導センター

☎:025(773)6702 Fax:025(773)6703 Eメール:mgakusen@minamiuonuma.ed.jp

ホームページ URL: <https://www.minamiuonuma.ed.jp/1570003> 南魚沼市学習指導センターで検索

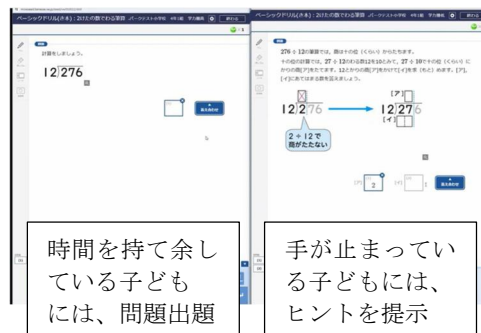


## ICT で広がる学びの可能性

GIGA スクール構想によって、一人一台端末が整備されてから6年が経ちました。様々な場面でタブレット端末が活用され、子どもの学びの姿も変化していることと思います。昨年、中教審から報告された「論点整理」には、「情報活用能力の抜本的向上」という方針が示されました。「抜本的」という言葉は、これまでの活用の枠を超え、学びのあり方を根本から見直していこうという意志の表れだと受け止めています。また、加速度的に進歩し続けている生成 AI との付き合い方も活発に議論されています。子どもが生成 AI をパートナーとして活用しながら学習を進める日も、そう遠くないかもしれません。こうした変化が激しい時代だからこそ、我々教員も「情報活用能力」を育てていきたいものです。

6月2日、3日に「ミライシードの基礎研修」を実施しました。

2日は、ドリルパークの AI ドリルを主な話題として取り組みました。右の画面は、ドリルパークで同じ問題を解いている際の子どもの様子（イメージ）です。習熟度に応じて、AI が異なる問題やヒントを提示してくれます。「問題が解けない」と手が止まる子どもや「ドリルが終わっちゃった」と時間を持て余してしまう子どもにそれぞれ対応している点に、子ども一人ひとりが安心して学べる可能性を肌で感じることができました。



3日は、オクリンクプラスの情報可視化機能を主な話題として取り組みました。右の画面のように子どもの言葉を集計して、ワードクラウドを作成することができます。他にも、子どもの意見を瞬時にグラフ化する集計方法など、便利な機能が備わっています。意見を可視化することで、学級内の考えの偏りを把握しやすくなります。こうした機能は「話せないけれど一生懸命考えている」子どもの意見を取り入れたり、学級内の合意形成を図ったりしたいという教師の願いを実現可能にするものだ実感しました。



今、ご紹介したような機能は6年前にはなかったものです。つまり、学習ソフトやアプリケーションも子どもの思いに応えるために年々進化しているということです。子どもたちにより豊かな学びを届けるためには、我々自身のアップデートも欠かせません。

学習指導センターでは、これからも日々の授業改善に挑戦する先生方を全力で応援していきます。まずは毎日の授業の中に、小さな一歩を取り入れてみませんか。

ICT の活用に関する疑問やご相談がございましたら、いつでもお気軽に学習指導センターへご連絡ください。

(文責：高山 史)

## 「WEBQU の分析と活用法」研修会

6月3日（水）、早稲田大学・教育総合科学学術院 非常勤講師の伊佐貢一様を講師にお招きし、「WEBQU を活用した学級づくり」について研修を行いました。

前半は講義で、「WEBQU アンケートの構造」「WEBQU の活用について」「WEBQU の結果の見方（新機能含む）」について学び、後半は各学校の実際の QU データを見ながら研修を行いました。今回の研修では、参加していただいた先生方から各学校で伝達講習をお願いしたいと考えています。特に、「WEBQU の活用」について職員間で共有し、学級づくりに役立てていただきたいです。

本研修では、講師の伊佐先生より「QU とは、学級づくりの理論と方法論を整理したものであり、『集団とは〇〇するとよくなる』ということを示した形式知（言語化された知識）である」という本質的な視点をご提示いただきました。

これを踏まえ、伊佐先生からは、学級経営の土台として「職員室が親和的である（お互いを認め合い、協力し合える環境である）」ことの大切さについてお話をいただきました。学級担任を孤立させるのではなく、全校体制で WEBQU を活用した学級づくり・集団づくりを進める必要性を改めて強く実感しました。

これまでも各校で WEBQU の結果を分析・検討し、学級経営等に活用してきたことと思いますが、改めてその重要性を感じました。ぜひ各校で WEBQU の結果を有効に活用していただきたいと思います。

伊佐先生が力強くお話されていたのは以下の点です。

- ・ルールの確立とリレーションの形成が大切！  
（分布図の縦軸を見ればリレーション、横軸を見ればルールがわかる）
- ・親和型がでたら「活性度」に目を向ける
- ・ヘルプサインチェックや経年変化などの機能を活用
- ・小規模な学校だからこそ「みんながリーダーの学級づくり」



### 受講者の方の感想を紹介します

- ・WEBQU を学級づくりに、どのように活かしていくとよいのかが、よく分かりました。特に、WEBQU の結果を見る視点（具体的にどこを見て、どのようなことを把握することが重要か等）を教えていただき、とても勉強になりました。
- ・「バージョンアップした部分や活用におけるポイントを焦点化してお話しいただいたことで、校内へ持ち帰って若手を含めた全校体制で活用を進めていくことができる見通しがもてました。

最後に、研修会で紹介のあった WEBQU に関する右の参考図書は、学習指導センターで貸し出しをしております。参考にしたいという学校がありましたらお問い合わせください。

（文責：高橋 圭祐）

